

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/>	1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
<input type="checkbox"/>	2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・理念を事務所内に貼付し、理念に基づいた利用者への接し方やイベントを実施している。 ・全職員でしっかりと理念を共有する。(毎朝のミーティング時に理念を声に出し確認する)	
<input type="checkbox"/>	3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・玄関や共有空間に理念を貼付している。 ・運営推進会議で発表を行い、参加者に配布をした。	・地域の方たちが理解を深められるようなアピールを、積極的にしていく工夫をする。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/>	4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者の散歩など外出時に隣近所の方と会った時は挨拶をおこなっている。	回覧板を通じて隣近所の方と交流をしたい。
<input type="checkbox"/>	5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域のお祭りや運動会等に参加している。 ・回覧板を回して頂けるように自治会にも声をかけており、なじみの関係が作れる様に努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組めていない。		・「初期の認知症の方への接し方」など地域の方へ向けた勉強会や見学会などを開催したい。 ・民生委員・老人会などの見学受け入れを行う。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・前回の外部評価で指摘のあったところはほとんど改善している。 ・外部評価自己評価票の作成を全職員で担当した。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームに関する全てを報告している。		利用者の御家族に積極的に参加して頂き、意見交換ができるように工夫したい。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	些細な事やわからない時は連絡し情報を得て、常に良い関係作りに努めている。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際成年後見制度を利用している利用者もいるので、全体ミーティングで基本的な伝達をしている。		内部研修でより理解を深める。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	苦情事故解決委員会をもとに、虐待に関する知識を他職員に周知している。そのため、全職員の意識も高まり、防止に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結時には、契約書・重要事項説明書の内容をすべて読みあげ、理解・納得して頂いている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・意見、不満、苦情が言いやすい環境はある。 ・運営推進会議でも報告している。</p>	<p>声に出して意思表示できない利用者の気持ちを如何にしてくみとるかが課題である。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月の手紙・出納と明細書の送付のほか、ホーム新聞を発行している。 ・希望するご家族へは個人記録のコピーを送付している。 ・ケアプラン更新時の面談でも近況報告をしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見・不満・苦情への窓口は明確にしている。</p>	<p>実際全くないのが現状であり、如何にして話しやすい環境を作るかが課題である。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営に関する職員の意見は全体ミーティングで議題として取り上げ、全職員で話し合い運営に反映させている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>できている。 例 利用者の病院受診、家族面談</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・職員面談等を実施し離職防止に努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・個人面談を実施し、各職員ごとに育成計画を立てている。 (法人内外の研修はそれに基づいて参加している)</p>	<p>ツールはできているが実際にうまく使いこなせていない。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・グループホーム連絡会に参加している。</p>	<p>2・3施設ともっと交流していきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・職員個人面談を実施し、職員の悩み・ストレスを聞き取るようにしている。 ・休憩室を設置し、ゆっくり休めるような環境を作っている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員個人面談を実施している。</p>	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>していない。</p>	<p>今後実施していきたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談に来られた時にご家族の状況や困っている事・不安な事を傾聴し、受け止めている。</p>	<p>月に1度待機者の御家族と連絡をとり、本人の状況をうかがったり、施設の状況などを説明する。広報誌等を送付したり、遊びに来て頂ける機会を設ける。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援を見極め、他施設と連携を取り、できる限りご家族の負担を軽減できるよう努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	短期入所サービスやお茶のみ等で他利用者や職員・施設の雰囲気を体験してもらい、徐々に慣れて頂く。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は業務としてではなく共に生活しているという姿勢を持ち、日常生活の中で知恵を伺ったり、相談を持ちかけ横の関係を築いている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	年に2回程度、家族との面談を持つ機会を設け、一緒に本人を支えていける関係作りに努めている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と御家族との関係を踏まえつつ、可能な限り良い関係を築けるよう努力している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	併設の施設を利用している馴染みの人に会いに行っている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士のトラブルには職員が間に入り、関係を維持できるように努めている。 ・誕生会等の行事を持つことにより、他利用者への思いやりの気持ちを持って頂き、関係を維持できるようにしている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>契約終了後もいつでも相談にのれるような体制をとっているが、実際にそのような働きかけはしていない。</p>		<p>今後は広報誌やイベント招待状を送付し、継続した関係作りに努める。</p>
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・一人ひとりの生活歴や仕事歴・趣味など把握した上で話を伺う。 ・困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>声に出して意思表示できない利用者の気持ちを如何にしてくみとるかが課題である。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>過去の生活歴を大切にし家族の意向を聞きながら、他施設の職員と連携を図り実態把握に努めている。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・職員が気付いたことを、状況に応じて話し合う場を持っている。 ・週ミーティング、全体ミーティングの場で話し合っている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・全体ミーティング時に担当者会議を開催し、全職員の意見を聞いて計画書を作成している。 ・面談した家族の意向も取り入れている。</p>		<p>面談を予定通り実施できるように、家族の協力を得られるようにしたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・大きな変化が生じた場合は家族に電話連絡をし、現状報告をしている。 ・全体ミーティングで全職員で話し合う。</p>		<p>これからも日々の変化が生じた場合は、家族と意見交換を密にし臨機応変に対応していきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケース記録を見ただけで状態がわかるように、会話や行動などは具体的に記入するように工夫している。 ・ケース記録の内容を区分しやすい様に、日中・夜間・家族応対・病院受診の記録を色別で記入している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・空き部屋利用の体験入所サービスの体制は整っている。 ・通院サービスを提供している。 ・買い物サービスを提供している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣小中学校の福祉学習や地域ボランティアの受け入れを積極的に行っている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今後も本人の意向や必要性があれば行なっていくが、今のところないので現状維持する。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・後見人制度を利用している。 ・運営推進会議に参加してもらっている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と事業所とのより正確な情報交換の為、『通院シート』を作成し連携強化に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・家族より同意を得られた場合、定期健康診断でCTを撮ってもらい、その結果をかかりつけ医に報告している。 ・協力病院以外にも通院できる体制を整えた。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師と相談をし、健康管理のアドバイスをもらっている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・面会に行き、退居に向けて状態把握を行なっている。 ・病院関係者に退院のための条件等を伝えている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化や終末期の方の利用は対象としていないが利用者・ご家族が安心して利用できる様、面談時に急変時の対応について話し合っている。 ・対応方法も全職員で統一している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	対象としていない為、検討や準備はしていない。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人・御家族に関わるケア関係者間と十分に話し合いを行なっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・本人を尊重した言葉かけやさりげない対応をしている。 ・記録等は鍵のかかる場所に保管している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・天気の良い日は希望により散歩をしている。 ・入浴準備時、本人の好きな服を選んで頂いている。 ・外食時、本人の好きなメニューを選んで頂いている。 ・買い物時、好きな物を買って頂いている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・本人の希望と状態に合わせ、本人のペースを重視している。 ・起床、就寝、入浴、食事など本人が動きたい時間まで待ち、必要に応じて行動を促している。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・家族と馴染みの理美容院へ出かける方、職員によるカット・毛染めをする方など希望に応じて支援している。 ・洋服は利用者の好きな物を選んで頂いている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・準備や片付けは本人の力を引き出せるように、その場で役割を分担している。 ・食堂が狭いので職員は時間をずらしたり、できるだけ利用者と一緒に食べる努力はしている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・御家族に協力して頂きながら、嗜好品等を持ってきていただいている。 ・必要に応じて買い物に行っている。 ・ケアハウスでの洋服移動販売に参加している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄チェック表を用い、個々の排泄誘導を工夫している。 ・失敗時も他利用者に配慮し、素早い対応を心がけている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・利用者の意志を確認し、ゆったり入浴できるよう支援している。 ・午前・午後とも入浴できるが、夕食後については現在希望者がいないため行っていない。 ・柚子やミントなどを入れ、季節感を感じて頂けるようにしている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・寝室内の照明調節や温度調節を希望に合わせて行う。 ・主治医と相談し、その時の状態に応じて睡眠剤などを使用しているが、出来るだけ使用しないように1日のリズムづくりを心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・個々の出来ることを把握し、食事の配膳・来客へのお茶出しなど、利用者一人ひとりに役割を持っていただけるよう働きかけをしている。 ・買い物やクラブ活動に参加して頂いている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・御家族にお金を預かっているため、自由に買い物しやすい環境である。 ・買い物に行く時にお金をお渡しするなど、お金の大切さを理解していただけるよう取り組んでいる。		使いすぎないように、利用者に声かけをしていく。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は利用者の希望に合わせて行っている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	紅葉・コスモス見学などの外出ツアーを通じて季節感を感じて頂いている。		ご家族との相談・協力しての外出なども検討中。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて対応している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できるように体制を整えている。(訪問時は居室でゆっくり過ごしていただけるようお茶・椅子などの配慮をしている。)		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修への参加・職員勉強会の実施・法人として委員会活動等、常に身体拘束についての意識を高めている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中は施錠しない。 ・19時以降の職員がひとりになるような時、防犯上の視点から施錠している。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・階段乗降部にセンサーを設置した。 ・両端カメラを利用者確認しやすいように、カラーにした。 ・常時職員1人は居間にいるように心がけ、利用者が2階にいても両端のカメラで確認するようにしている。 ・併設施設職員とも連携を図り、協力してもらっている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・共同のスペースに関しては職員が管理している。 ・居室や個人の持ち物に関しては、一人ひとりの状態に応じて対応している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリ・ハット表や事故報告書を使用し、対応策を週ミーティングや全体ミーティング等で検討している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が緊急時対応できるように定期的に勉強会を実施している。 ・個々のケースに副作用などが書いてある。また内服薬も名前・日付・いつ内服するのか等が書いてある。 ・緊急時対応マニュアルが作成されている。 		全職員がスムーズに対応できるよう、定期的に勉強会を実施したい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での消防訓練は行なっている。 ・地震対応マニュアルを作成した。 ・運営推進会議において、協力の呼びかけを行なっている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームのみの消防訓練を実施したい。 ・水害対応マニュアルも作成したい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との面談時、ADLの低下などの説明をし、現状を理解して頂けるように努めている。 ・ケース記録に家族との会話の内容を残している。 		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・健康チェックを毎日実施し、そのデータをケース記録に記入している。 ・夜間も訪室し様子観察している。 ・異常時は看護師に相談している。 		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルに入っている服薬一覧表を全職員がいつでも確認し、把握できるようにしている。 ・症状の変化時は医師の指示のもと服薬の調節を行なっている。 ・薬は専用ケースに入れ、二人の職員で確認してから服用して頂いている。 		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のラジオ体操、定期的な健康体操を行っている。 ・必要に応じて散歩等も行なっている。 		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食後就寝前に口腔ケアを行なっている。 ・起床時のうがいを実施している。 		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事・水分チェック表を作成し、1日の栄養摂取量や水分量を確保できるようにしている。</p> <p>・食事摂取もご自分では困難な利用者には、補助具を利用したり介助したりしている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症対策委員の勉強会により職員の予防知識を高め、施設独自の対応を実施している。</p>		
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>・毎食後、食器布巾は消毒液につけておく。</p> <p>・調理用具等は使用前後の消毒を行い、職員全員で衛生管理に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>				
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>・玄関に手すり、椅子を設置し、安心して出入りができるようにしている。</p> <p>・玄関前に花壇、ベンチを設置している。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・夏は強い日差しを避ける為によしずを設置している。</p> <p>・季節の花を飾り、季節感を感じられるように工夫している。</p> <p>・居室、玄関、トイレに芳香剤を設置した。</p> <p>・昔ながらのおもちゃを飾りにし、懐かしんで頂いている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・廊下にベンチを置いたり、居間にコタツを置いてある。</p> <p>・利用者居室内で利用者同士がお喋りをする時に椅子を貸し出している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・たんすや仏壇等、使い慣れた家具を持ち込んで頂いている。 ・心地よく過ごせるように、本人に合わせた家具の位置や装飾を工夫している。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・職員が常に気を配り、1人1人に合った対応をしている。 ・共同のスペースでは入居者の希望に応じている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・必要な場所には手すりを設置し、安全かつ自立した生活が送れるようにしている。 ・希望状況に応じて階段昇降機を使用できる。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレには大きく『トイレ』と書いてあり、居室には個々に合った対応で間違わないような工夫をしている。		
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関前に花壇が設置してあり、散歩時に積極的に水やりや草むしりができるようにしている。 ・玄関前に椅子を設置し、外の空気を吸ったり利用者同士でお喋りしたりと、利用者が気分転換できるようにした。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「ゆっくり・楽しく・一緒に・ぬくもりのある生活を送りましょう」を第一の理念としており、職員は笑顔を絶やさず入居者に接し、入居者から自然と笑顔がこぼれるような支援を心がけております。具体的には、通常のグループホームのような「献立 買出し 調理」という形をとっていないので、入居者一人ひとりと向き合う時間が多く取れております。単調になりやすいホームでの生活にメリハリをつけ生きがいを感じていただく為に、さまざまなクラブ活動やレクリエーションを企画し、自由に参加していただいております。また、季節感を感じていただけるよう、外出ツアーや散歩、ホームの花壇整備等を実施しております。第二の理念として「地域との結びつきを大切にし、地域との信頼関係を保ちながら、地域の一員として生活を送ります」を掲げ、地域の行事に参加したり地域ボランティアを招待したりと、双方向的な活動を行っております。